

# 千葉県社保協通信

2020年度 No.18 2021年 3月 10日号

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉センタービル 3F

TEL : 043-225-6790 FAX : 043-221-0138 Eメール [syaho2006@star.ocn.ne.jp](mailto:syaho2006@star.ocn.ne.jp)

## “ 窓口負担2倍化やめて ” 切実な声が議会を動かした !! 東金市議会

### 「75歳以上医療費窓口負担の原則1割継続を」陳情採択

東金市議会は3月2日、国と関係省庁に対し「75歳以上医療費窓口負担原則1割継続を求め」陳情を17対4の賛成多数で本会議採択しました。年金者組合東金支部が陳情したもので、本会議採択は県内で初めてです。

委員会で趣旨説明した平野克美さん（年金者組合支部長）は「議長の”賛成の方は起立を”に議員がパッパッと立ち上がり”起立多数で可決”の声に感動した」と感想を寄せました。

定数22人の議会は、自民、公明、保守系無所属が圧倒的多数で、他に共産2、社民1です。「新しい一歩を踏み出せたと思う」と報告に実感がこもります。

東金市はかつて県東部の商業の中心地でした。人口57000人余、高齢者人口比30%です。高度成長期に丘陵地の団地開発が進みましたが近年は人口減少が続きます。支部は東金市と九十九里町の組合員で構成し、現在96人です。

当日は東金支部の組合員7人が傍聴しました。

—JPU千葉・情報より—



## 県議会・不採択

～75歳以上医療費窓口負担1割継続を求める請願～

県社保協と年金者組合県本部が提出した請願は、2月22日の健康福祉常任委員会で審査され、みわ由美議員（共産党）が「年金が減らされ、医療費が上がると怒りが巻き起こっている」「現役世代の負担減は月わずか30円、公費投入が980億円も少なくなる」「国に意見書を」と強調しましたが賛成少数で不採択。3月2日の本会議も同様の結果でした。

## 白井市議会・委員会

### 「75歳以上医療費」で2時間半の質疑

#### しっかり説明・・・賛成少数でも大きな成果

2月26日、白井市議会教育福祉常任委員会が開かれ、「75歳以上医療費窓口負担1割継続を」の請願が審議されました。白井市議会は質問がある限り時間を保障し、この日は10時から12時半まで質疑応答が行われました。

趣旨説明は15分間のため、4000字を超える説明文を準備し、年金者組合しろい支部の中川滋子支部長と根本敦子執行委員が分担しました。「国民皆保険制度は誇れるものであり、2割負担は暮らしを壊し、受診抑制を招く、日本医師会や後期高齢者医療広域連合議会も危機感を募らせている」ことなどを詳しく説明しました。議員からは説明を深める質問もあり、一方で「難癖をつける」発言もあったといいます。組合員ら20人以上が傍聴しました。

賛成少数で否決されましたが、住民自治、議会と市民の関わり方に示唆を与え、大きな成果がありました。

—JPU千葉・情報より—

●「75歳以上医療費窓口負担1割継続を」求める陳情は、地域社保協未結成の地域では地元の年金者組合支部又は県社保協が提出しており、今後勝浦市、君津市、富津市、木更津市の各議会で年金者組合員による趣旨説明が行われます。

## 重度障害者(児)施設

—障千連—

### 袖ヶ浦福祉センター存続を求める署名提出

障害者の生活と権利を守る千葉県連絡協議会は入所者家族とともに、3月3日県知事宛に「袖ヶ浦福祉センターの存続を求める」署名第1次分829筆を提出。県は、同センターを2022年度末までに廃止する方針。県担当課は「この間の協議で民間施設で分散して受け入れると結論を得ている」としています。参加者は「公の役割放棄は許されない」と再検討を求めました。